

第16回 低温科学研究所 技術発表会

第3回 低温科学研究所 技術部セミナー

日時：平成22年12月10日（金）13:30～

場所：低温科学研究所 研究棟 2F 講義室

主催：北海道大学低温科学研究所技術部

共催：北海道大学教育研究支援本部

13:30-13:35 開会挨拶

13:35-13:50 パタゴニア・ペリトモレノ氷河での熱水掘削とGPS連続測定
○杉山 慎、刀根 賢太、新堀 邦夫、高塚 徹

13:50-14:05 氷河底面堆積物貫入深度計による堆積物分布調査
○西村 大輔、津滝 俊、吉澤 猛、杉山 慎、新堀 邦夫

14:05-14:20 大型ライシメーターによる積雪底面流出量の観測
○石井 吉之、兒玉 裕二、新堀 邦夫、中坪 俊一、藤田 和之、池田 正幸、森 章一

14:20-14:25 大型ライシメーターの製作
○藤田 和之、新堀 邦夫、池田 正幸、森 章一

14:30-14:45 PIV法を用いた接地境界層における乱流構造の把握 —観測システム開発と予備実験結果—
○森 文洋、下山 宏、森 章一、新堀 邦夫、渡辺 力

14:45-15:00 2010年ロシア船によるオホーツク海の観測について
○西岡 純、的場 澄人、小野 数也、村山 愛子

15:00-15:15 自動開閉式チャンバーを用いた海水-大気間のCO₂フラックス測定 —南極海定着氷上での現場観測—
○野村 大樹（国立極地研究所）、兒玉 裕二、中坪 俊一、福士 博樹、千貝 健、藤田 和之、清水 大輔、福地 光男（国立極地研究所）

15:15-15:20 自動開閉式チャンバーの製作 ～海水上CO₂チャンバー～
○中坪 俊一、藤田 和之、池田 正幸

15:25-15:40 監視カメラを用いた局地現象の長期モニタリング
○藤吉 康志

15:40-15:55 ドームふじ掘削孔検層機の改良
新堀 邦夫、本山 秀明（国立極地研究所）、○的場 澄人

15:55-16:10 流星バースト通信によるオホーツク海域環境情報収集システムの開発2
○高塚 徹、白澤 邦男、椋本 介士（静岡大学）、長澤 正氏（沼津高専）、若林 良二（東京都立産業高専）、亀井 利久（防衛大学校）

16:15-16:30 クラスタイオン生成装置の開発2
○中井 陽一（理化学研究所）、小島 隆夫（理化学研究所）、日高 宏、渡部 直樹、藤田 和之、中坪 俊一、中鉢 健太、森 章一、新堀 邦夫、千貝 健、福士 博樹

16:30-16:45 疑似液体層-氷界面での単位ステップの直接観察
○佐崎 元、Salvador Zepeda、中坪 俊一、横山 悦郎、古川 義純

16:45-17:15 **技術部セミナー**

創成研究機構共用機器管理センター共用機器部門のオープンファシリティにおける役割
○江藤 典子（創成研究機構共通機器管理センター）